※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T3037 |
|---|---|

# 令和５年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新数学Ａ（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 新数学Ａ　解答編　（東京書籍） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は基本的にプリントで学習していきます。
・例題→演習の流れが授業の基本です。
・自宅でのレポート作成が復習になります。
・授業では黒板を写すだけでなく、自ら考え取り組んでいきましょう。

## ２　学習の到達目標

(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。<br>事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 | 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。<br>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 1章　場合の数と確率 | 集合の要素の個数<br>和の法則･積の法則<br>順列<br>いろいろな順列<br>組合せ<br>組合せの利用 | a:集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。<br><br>b:　事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。<br><br>c:　様々な場合の数を数えるのに、順列や組合せの考え方が使えることに興味・関心をもち、問題解決に活用したり、粘り強く考えようとしたりしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート<br>レポート | ワークシート<br><br>観察<br>振り返りシート |
| | | 事象と確率<br>確率の計算<br>排反事象の確率<br>余事象の確率<br>独立な試行の確率<br>反復試行の確率<br>条件付き確率<br>期待値 | a:確率の意味や基本的な性質について理解を深め、それらを用いて事象の確率を計算することができる。<br><br>b:　確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。<br><br>c:　確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート<br>レポート | ワークシート<br><br>観察<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | ２章　図形の性質 | 平面図形の基礎 | a:　平面図形の基礎を理解し、作図する事ができる。<br><br>b:　三角形の合同条件などを基にして平面図形の基本的な性質を論理的に確かめ表現することができる | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート<br>レポート | |
| | | 三角形の性質 | a:三角形に関する基本的な性質について理解している。<br><br>b:　三角形の重心・外心・内心について，論理的に考察し説明することができる。<br><br>c:事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えようとしたりしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | ワークシート<br><br>観察<br>振り返りシート |
| | | 円の性質 | a:円に関する基本的な性質について理解している。<br><br>b:　同一円周上にある点を結んでできる角についての様々な定理を理解し，これらの定理の関係について，統合的に考察することができる。 | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | |
| | | 空間図形 | a:空間図形に関する基本的な性質について理解している。<br><br>b:　空間図形の性質について，論理的に考察し説明することができる。<br><br>c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>確認テスト<br>ワークシート | ワークシート<br><br>観察<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度